

東洋大学校歌の作詞

本学の校歌は、「浜辺の歌」の作詞で有名な林古溪（はやし こけい／本名・林竹次郎）氏によるものです。林氏は、東洋大学の前身となる哲学館の卒業生、本学講師としてもなじみ深い人物で、歌人・漢詩人・国漢文学者として活躍したことで有名です。

1981（昭和56）年4月20日発行の東洋大学報には、1924（大正13）年の「校歌懸賞募集」で選ばれた校歌の成り立ちについて書かれています。「まず、校歌が作られた時代は、第一次世界大戦後急速に進んだ国力増強、それに伴い育っていった大正デモクラシー運動が背景にある」とあり、当時の緊迫した時代背景が垣間見える一文です。

これまで受け継がれてきた東洋大学の校歌には、このような秘話があったのです。



林古溪 明治32年哲学館教育学部卒業



自筆原稿

校歌

林古溪 作詞
山田耕祥 作曲

一、垂緇垂の魂再び此処に
目覚めしよろこび溢れつ人に
雄々しく掲げたり岡の声
東洋大学生れぬかくて

二、垂緇垂の天地曉明けて
仁義と慈悲との誠の光
今こそ輝け西の海
東洋大学務は重し

哲学する心を、持て。

発行日／平成27年12月10日

発行／東洋大学

編集／総務部広報課

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

TEL 03-3945-7571

URL <http://www.toyo.ac.jp> E-mail mikoho@toyo.jp

制作／大日本印刷株式会社、

株式会社DNPメディアクリエイト

次号の発行予定は3月です。